

■ 4 研究に関する事項

2010年度は、これまでの第4次長期計画における研究関連事業推進の実績と経過の反省とを踏まえ、政府の第三次科学技術基本計画や研究を取り巻く諸情勢を視野に入れながら、21世紀に龍谷大学が世界に通用する先進的で卓越した教育研究機関として広く認知されるよう第5次長期計画の実現に向けて「強みのある研究と特色ある研究を推進するための環境整備」、「研究評価制度の構築」、「社会から評価される研究の推進と外部資金の確保」、「研究成果の社会に向けた発信力強化」、「研究支援体制の整備と新展開」を研究事業計画の柱として実施計画案策定に取り組んだ。

1 強みのある研究と特色ある研究を推進するための環境整備

● 「人間・科学・宗教」知の融合

「人間・科学・宗教」の3つの知の融合をめざし、人間・科学・宗教総合研究センターにおける研究プロジェクトを中心として研究を推進し、研究成果の教育や社会への還元にも努めながら国際的に期待される研究を展開した。また、国際社会に目を向けた研究の個性化と特色化を実現するため、「強みのある研究」と「仏教を機軸とした研究」をポスト高度化推進事業として位置付け第5次長期計画実施計画案の策定に取り組んだ。

● 強み・特色のある研究の推進や研究拠点の形成と人材育成

文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業や学術研究高度化推進事業等への積極的な取り組みを行った。2010年度は戦略的研究基盤形成支援事業の継続事業として「地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター」、「古典籍デジタルアーカイブ研究センター」、「里山学研究センター」を、学術研究高度化推進事業として「革新的材料・プロセス研究センター（HRC）」、「情報通信システム研究センター（HRC）」を実施した。また、戦略的研究基盤形成支援事業の新規事業として「アジア諸地域における仏教の多様性とその現代的可能性の総合的研究」（アジア仏教文化研究センター 代表：桂紹隆文学部教授）「死生観と超越—仏教と諸科学の学際的研究」（人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター 代表：鍋島直樹法学部教授）が新たに採択され研究活動を開始した。

また、大学間共同利用機関法人人間文化研究機構が実施する地域研究推進事業として採択された「現代インド地域研究拠点」についても連携先となる京都大学、東京大学等の研究機関との連携を図りつつ5年間の委託研究事業としてスタートさせるとともに、本学が特に必要とする研究プロジェクトとして「混一疆理歴代国都之図研究プロジェクト」を引き続き実施した。

2 研究評価制度

● 研究評価の実施

2010年度は、2009年度をもって補助研究期間が終了となった私立大学学術研究高度化推進事業に対して文部科学省により実施される事後評価を受け、「人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター」において（AA）、「アフラシア平和開発研究センター」において（AA）、「矯正・保護研究センター」において（AB）の高い評価を得た。

3 社会から評価される研究の推進と外部資金の確保

● 科学研究費補助金

外部資金獲得に関しては、科学研究費補助金に関する学内説明会の徹底と窓口相談の対応強化や専門家による外部資金獲得方法に関する講演会を開催し、可能な限り学費に依存することなく研究の財源を確保していくための外部資金獲得に努めた。

科学研究費補助金の金額については、代表者採択分が総額146,199,008円、分担者分（厚生労働省含）が30,426,000円となり2010年度も当初目標に掲げた1億円以上を獲得できた。また、新規採択率については28.21%となり全国平均24.8%を3.41%上まわった。

● 受託研究・奨学寄付金

受託研究や奨学寄付金については、RECや研究者の努力により2010年度は受託研究費145,102,379円、奨学寄付金14,081,225円となり、平成16年度以降、毎年総額1億円以上の獲得を達成しており、研究に係る外部資金獲得額は順調に推移している。

● 文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業については、2010年度「アジア諸地域における仏教の多様性とその現代的可能性の総合的研究」（アジア仏教文化研究センター 代表：桂紹隆文学部教授）が5か年の「研究拠点を形成する研究事業」として、「死生観と超越—仏教と諸科学の学際的研究」（人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター 代表：鍋島直樹法学部教授）が3か年の「大学の特色を活かした研究事業」としてそれぞれ採択され研究活動を開始した。



4 研究成果の社会に向けた発信力強化

●研究者データベースの構築と活用

学校教育法施行規則等の改正を受けて2011年4月より研究者の学位や研究業績を開示することが義務づけられたことに伴い、これまでの独立行政法人科学技術振興機構のReaD（研究開発支援総合ディレクトリ）に加え、本学独自のweb発信のためのシステム構築を行い4月より公開することとした。また、第5次長期計画においても情報発信を重要な課題と位置付けており、社会に対する訴求力を強め、積極的な情報発信を行い広報体制の強化を図るため、



4月公開の研究者データベースを更に発展させ、一元管理のもとに本学が導入する自己点検・評価データベースシステムとも連動し、研究者情報の様々な活用が可能となる研究者情報データベースの構築に着手した。

5 研究支援体制の整備と新展開

●研究支援体制の整備

研究者の研究意欲や能力が十分に発揮できる環境を整備するために、科学研究費補助金等の競争的資金に係る情報収集、各研究者の独創的な研究成果が発揮し易い環境の提供など、研究に関する事務支援体制の強化に取り組んだ。

●基盤研究、萌芽的研究の強化充実

多様化する研究環境に対応し、研究活動を充実していくために、個人研究費の支出範囲の見直しや様々な研究助成制度についての改善を図った。また、付置研究所における研究を推進し、すべての研究者の研究機会をある一定の基準で公平に保証しながら多様な研究分野における基盤研究や萌芽的研究の強化に努めた。

●付置研究所のあり方

今後の付置研究所のあり方について、現状の4付置研究所の有する諸課題を整理し、基盤的研究の強化を図った。また、その成果を発展・展開していくために、新たな研究所のあり方も視野にいれ、第5次長期計画実施案の策定に取り組んだ。

龍谷大学が展開する文部科学省私立大学 学術研究高度化推進事業 戦略的研究基盤形成支援事業 プロジェクト一覧

①革新的材料・プロセス研究センター（HRC）

プロジェクト名	期間(年度)	総予算額(円)
エネルギー有効利用のための革新的材料研究開発	2006～2010	159,000,000

②情報通信システム研究センター（HRC）

プロジェクト名	期間(年度)	総予算額(円)
アドホック無線ネットワークの要素技術と応用に関する研究	2006～2010	154,000,000

③地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター

プロジェクト名	期間(年度)	総予算額(円)
地域における公共政策と地域公共人材の開発システムに関する研究	2008～2010	108,365,000

④里山学研究センター

プロジェクト名	期間(年度)	総予算額(円)
里山の現代的利用に関する総合研究	2009～2011	132,135,000

⑤古典籍デジタルアーカイブ研究センター

プロジェクト名	期間(年度)	総予算額(円)
新技術開発による文化財保存・修復科学研究	2009～2011	90,800,000

⑥アジア仏教文化研究センター

プロジェクト名	期間(年度)	総予算額(円)
アジア諸地域における仏教の多様性とその現代的可能性の総合的研究	2010～2014	170,400,000

⑦人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター

プロジェクト名	期間(年度)	総予算額(円)
死生観と超越—仏教と諸科学の学際的研究	2010～2012	93,472,000

※2008年度より文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業は文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業として実施。